

これだけは押さえておきたい！

コメディ映画年表

「三千年の歴史から学ぶことを知らぬ者は、知ることもなく、闇の中にいよ、その日その日を生きるとも」とヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテはおっしゃいました。この言葉はこうも言い換えられるのではないかでしょうか。

「コメディ映画の歴史から学ぶことを知らぬ者は、知ることもなく、闇の中にいよ、その日その日を生きるとも」と。

コメディ映画の歴史からなにも学ぶことをしなくとも、その日その日を生きていくことはできるかもしれません。しかしそれは、闇の中で生きているようなものです。なにも知ることもなく、なにも見ることのない人生。大切なのは、私たちの生を照らす光です。神は「光あれ」と言われた。すると光があった、と伝えられています。光と闇の産物、それはまぎれもなく映画です。そしてその映画を見て、人々の顔に浮かぶ明るい笑みこそ、闇のなかで私たちの生を照らす光です。

そんな私たちの生に欠かせない「これだけは押さえておきたい！」というコメディ映画をプロットした年表をここでは見ていくましょう。自分にとってかけがえのないコメディ映画に出会えたときには、年表を書き換え、どこまで更新していくって欲しいと願います。



『水をかけられた散水夫』(85)

1910

フォード社がベルトコンベアによる流れ作業を本格化(13)

世界初のコメディ映画?
リュミエール兄弟
『水をかけられた散水夫』(1895)

第一次世界大戦 1914 1918

マルクス兄弟
「暴走ラバ事件」をきっかけにコメディアンとして目覚める

スラップスティック・コメディの躍動 ～チャップリン、キートン、ロイドの喜劇王たち～

喜劇王マック・セネットが
「キーストン・ピクチャーズ・スタジオ」を設立(12)

「キーストン・コップス」シリーズ(14-)で
パイ投げを描き、スラップスティック・コメディの定番ギャグとなる

『成功争ひ』(14)で
チャップリン
映画デビュー

キーストン・ピクチャーズ・スタジオとは

生涯に700本以上の映画を製作した喜劇王マック・セネットが、映画産業初期に設立したアメリカの映画スタジオ。警察ギャグ集団「キーストン・コップス」で大ヒットを飛ばす。チャップリンやロスコー・アーバッカルをデビューさせたことでも有名。1935年に倒産したが、創設時の建造物であるメイン・スタジオは、今でもエコパーク地区に現存している。

暴走ラバ事件とは

まだマルクス兄弟が歌手として活動していた1912年。テキサス（一説にはオクラホマとも）の歌劇場でショーをしていたところ、目の前の通りでラバが脱走。劇場の観客は見物に外へ出てしまった。憤慨したグルーチョが戻ってきた観客を口汚く罵ったところ、意外にもこれが大ウケ。マルクス兄弟が「俺たち、お笑いもイケるんだな」と気づいた瞬間だった。

スラップスティック・コメディとは

キートンやロイド、チャップリンに代表される、身体をつかったギャグを多用した「ドタバタ」コメディ。鉄道や高層ビル、工場など現代的なシーンでマシンに翻弄されたり、それと戯れたりすることも多い。

狂騒の20年代（ジャズ・エイジ）
音楽：ジャズ
メディア：ラジオ
ファッション：フランパー

1920

アメリカで最初の商業ラジオ放送局
KDKA設立(22)をきっかけに
ジャズが大流行

『The Lucky Dog』(21)で
ローレルとハーディが初めてコンビを組む

『キートンの探偵学入門』(24)撮影中に
首の骨を折るが、キートン本人気づかず

キートン初単独監督作品
『キートンのハイ・サイン』(20)
公開見合せ
同年『文化生活一週間』公開

ロイド『用心無用』(23)で
ビルディング・アクションを披露



『結婚哲学』(24)

NBCがラジオ放送を開始(24)

「三バカ大将」結成
のちにファレリー兄弟によってリメイク

『黄金狂時代』(25)
空前の大ヒットを記録

『世紀の闘い』(27)
ローレル&ハーディが
千個のパイを投げ伝説に
『世紀の闘い』(27)

ソフィスティケイティッド・コメディの香り

アルビッチ・タッチ エルнст・ルビッチとビリー・ワイルダー師弟～
スター俳優：グレタ・ガルボ | オードリー・ヘップバーン |
マリリン・モンロー | ジャック・レモン

『結婚哲学』(24) 『ウィンドミア夫人の扇』(25) 『モンテ・カルロ』(30)

ルビッチ・タッチとは

ドイツ時代の『牡蠣の女王』(19)あたりから萌芽が出始め、『結婚哲学』(24)頃から呼ばれるようになるルビッチが得意とした軽妙洒脱な演出手法のこと。直接的な表現を避け、観客の想像力をかきたてるその演出の数々は多くの映画人と映画ファンを虜にした。

ウォール街大暴落(29)
狂騒終了

「ルーニー・チューンズ」
製作開始(30～69)



世界初の全編トーキー長編実写映画
『ジャズ・シンガー』(27)